

協会のあゆみ

※選抜チームの活動記録の詳細は、「選抜・派遣チームの活躍」でご覧いただけます。

生駒市ソフトボール協会

		内 容	備 考
1980年	昭和55年	<ul style="list-style-type: none"> 3/1、「生駒市ソフトボール協会」設立 会長に森田正二氏が就任(～1992年) 協会主催の大会を決定 <ul style="list-style-type: none"> ○4月「生駒市長杯」(後に「生駒市体育協会長杯」に移行) ○6月「生駒市体育球会長杯」(後に「生駒市ソフトボール協会長杯」に移行) ○10月「読売新聞社杯争奪大会」(～1998年、1999年～2003年「なごみ杯」2004年～「美幸杯」に移行) 	<ul style="list-style-type: none"> 男子12・女子2チーム
1990年	平成2年	<ul style="list-style-type: none"> 創立10周年記念大会を開催 (場所…北大和球場・グラウンド) 審判委員会を設立し、審判部の組織化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 男子36・女子2チームとなる。
1992年	平成4年	<ul style="list-style-type: none"> 会長に倉橋義昭氏が就任(～2012年) 	
1993年	平成5年	<ul style="list-style-type: none"> 副審制度を設けた。 協会機関紙「ぷろぐれす」創刊号発刊(～1999年、20号まで発行) 「生駒市ソフトボール協会長杯」を新設 協会主催の大会に女性チームが初めて参加した。 第4回奈良県壮年大会で優勝、協会初、近畿大会に出場 	<ul style="list-style-type: none"> 男子41・女子3チームとなる。
1994年	平成6年	<ul style="list-style-type: none"> 各チーム代表者・審判員を対象に「審判反省会・講習会」をスタートした。 	<ul style="list-style-type: none"> 第8回「生駒市ふるさとふれあい祭り」に初出店 (かき氷店・たこやき店)
1995年	平成7年	<ul style="list-style-type: none"> 第8回全国スポレク祭に「生駒選抜(女子)」が出場、2位に輝く ※生駒女子SBC、鹿ノ台ハインズ、生駒南女子SBCのメンバーによる選抜チーム) 	<ul style="list-style-type: none"> 10/1～3、第8回全国スポレク祭が生駒市で開催 (場所…北大和球場・グラウンド、総合公園グラウンド、生駒市井出山グラウンド、生駒山麓公園多目的広場) 前年に引き続き「生駒市ふるさとふれあい祭り」に出店(かき氷店・冷やし素麺)
1996年	平成8年	<ul style="list-style-type: none"> 県に先駆け、一塁のダブルベースを採用 「生駒市体育協会長杯・読売新聞社杯争奪大会」にA・Bの2ブロック制を採用した。 	
1997年	平成9年	<ul style="list-style-type: none"> 「生駒市ソフトボール協会長杯」にA・Bの2ブロック制を採用 	<ul style="list-style-type: none"> 第52回「国民体育大会近畿ブロック予選」が生駒市で開催された。(8月)
1999年	平成11年	<ul style="list-style-type: none"> 第8回全日本実年ソフトボール大会(開催地:和歌山県)に出場 	
2000年	平成12年	<ul style="list-style-type: none"> 8月、創立20周年記念事業開催 ○式典 ; 生駒市南コミュニティセンター「せせらぎ」 	<ul style="list-style-type: none"> 男子38・女子2チームとなる。

		<ul style="list-style-type: none"> ○記念大会 ; 北大和球場・グランド ○創立20周年記念誌を発刊 ・「生駒市長杯」にシード制を採用 	<ul style="list-style-type: none"> ・公認審判員 … 117人 第一種 13人、第二種 6人、第三種 98人
2004年	平成16年	・「なごみ杯」を廃止、「美幸杯」を新設	
2007年	平成19年	<ul style="list-style-type: none"> ・「生駒市体育協会長杯・生駒市ソフトボール協会長杯・美幸杯」にA・B・Cの3ブロック制を採用した。 ・第22回「全日本壮年ソフトボール大会」(開催地:石川県)に出場 ベスト8に進出し、準々決勝で優勝した「住友金属鹿島壮年」に惜敗 	
2009年	平成21年		<ul style="list-style-type: none"> ・8月、「国体近畿ブロック大会」ソフトボール競技が生駒市で開催された。 ・7～8月、「2009年 まほろば総体」ソフトボール競技が生駒市で開催された。
2010年	平成22年	<ul style="list-style-type: none"> ・創立30周年記念行事開催 ○式典 ; 10/30(土)、生駒市南コミュニティセンター「せせらぎ」 ○記念大会 ; 7/19(月・祝日)、北大和球場・グランド ○創立30周年記念誌を発刊 ・日本スポーツマスターズ2010 ソフトボール競技(開催地:三重県)に出場 	
2011年	平成23年	<ul style="list-style-type: none"> ・当協会主管大会の編成替えを行った。 ・「生駒市長杯」を廃止し、「生駒市体育協会長杯」に移行 ・「生駒市体育協会長杯」を「生駒市ソフトボール協会長杯」に移行 ・「エイトスポーツ杯」を新設、「生駒市ソフトボール協会長杯」を移行 ・「美幸杯」は変更なし ・3月、ホームページを開設(加盟チーム・役員への諸連絡にメール配信も併用開始) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公認審判員 … 122人 第一種 18人、第二種 7人、第三種 97人
2012年	平成24年	<ul style="list-style-type: none"> ・会長に加藤仁五氏が就任 ・協会の規約・運営規則を全面改訂・施行、組織体制の見直しを図った。 ・専門委員会制度(総務・審判・企画運営・選抜チーム運営の各委員会)を発足 ・当協会主管大会の当日運営の役割分担を明確にした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男子41・女子2チームとなる。
2013年	平成25年	<ul style="list-style-type: none"> ・当協会主管大会のすべてをA・B・Cの3ブロック制とした。 (生駒市体育協会長杯、生駒市ソフトボール協会長杯、エイトスポーツ杯、美幸杯) ※これにより「生駒市体育協会長杯」のシード制を廃止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これにより翌年のブロック編成に際しては、当協会主管の大会全ての成績で行うことになった。
2014年	平成26年	<ul style="list-style-type: none"> ・1/17「生駒シニア選抜クラブ」を設立し、県協会に登録した。 ・3/5、ホームページを全面的にリニューアルし、公開した。 	<ul style="list-style-type: none"> 県協会登録数…生駒を含め14チーム

<p>2015年 2016年</p>	<p>平成27年 平成28年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6・10月、こどもソフトボール大会を行った。 ・生駒市で開催する県大会等の総務委員は、加盟チームから派遣する制度を発足 ・大会参加申込書から生年月日、「丁目・番地」等下位住所の記入を廃止した。 ・ハイシニア選抜チームをスタートした。 ・2/14規約に役員の定年(75歳)を設けた。 ・男子B・Cブロックを統合し、A・Bの2ブロック制に再編した。 	<p>年齢を4/1時点に統一した。</p>
------------------------	------------------------	--	-----------------------

